

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                           |     |            |
|----------------|---------------------------|-----|------------|
| ○事業所名          | 児童デイサービス福すけ               |     |            |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年 3月 25日 ～ 令和7年 4月 10日 |     |            |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                    | 24名 | (回答者数) 15名 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年 3月 25日 ～ 令和7年 4月 10日 |     |            |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                    | 4名  | (回答者数) 4名  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年 4月 27日               |     |            |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)と思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的にやっている取組等                            | さらに充実を図るための取組等                                 |
|---|-------------------------------------------|--------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 1 | 保護者様、ご利用児童が 安心できる居場所として認識して下さっている。        | 職員との信頼関係を大切にし、安心できる環境を提供している。                    | 面談時以外にも気軽に情報共有できるツールを検討していく。                   |
| 2 | 支援プログラムに満足しているという評価をいただいている。              | 季節の行事、作業課題、創作活動、自立に向けてSST学習等プログラムが固定化しないようにしている。 | 現在の支援プログラムに基づきながら、個々の強みを生かせる課題に取り組めるように検討していく。 |
| 3 | ご利用児童が楽しみをもって来所してくださっている。                 | レクリエーションとして事業所外での活動にも取り組んでいる。                    | コロナ禍以前に行っていた地域への外出等の機会を増やしていく。                 |

|   | 事業所の弱み(※)と思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                     | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                  |
|---|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 1 | 職員全員参加の 会議開催が困難である課題。                     | 職員の勤務時間帯が異なるため 一同を介してのミーティング及び研修が難しい。                                                                 | 迅速に正確な情報を共有できるツールの検討。                                 |
| 2 | 事業所全体をバリアフリー化する課題。                        | 事業所が 賃貸契約であるため、リフォーム工事できる箇所が限られている。                                                                   | 危険箇所と思われる所は バリアフリー化に近い範囲で手を加え、できる限り環境上の配慮をさせていただいている。 |
| 3 | 学校との情報共有の有無の課題。                           | 当事業所としては、ご利用児童を支援する上で学校生活での情報は、大切なものと考えているが、デイサービスは、ご利用児童とデイサービスとの契約であるためという理由で、細かな情報をいただけないのが 現状である。 | ご利用児童を中心とした考えに基づいた情報共有の柔軟性。                           |